

黒滝村のあゆみ

- 1912 黒滝郷が南芳野村から分村し黒滝村として独立
- 1913 吉野材木黒滝郷同業組合事務所を役場庁舎とする(大字中戸)
- 1915 鳳閣寺廟塔(大字鳥住)が国の重要文化財指定
- 1920 村営水力発電所完成(大字中戸)
- 1949 才谷区が下市町に分村
- 1952 私立大七幼稚園開園(大字寺戸)
- 1959 伊勢湾台風により甚大な被害 死者行方不明者7名
- 1961 鳥住の大火
- 1962 簡易水道事業開始
- 1967 健民運動場竣工(大字堂原)
- 1966 アメノウオ人工ふ化に成功、養殖事業開始(大字中戸)
- 1968 村広報発刊
- 1969 村内有線放送整備、村立幼稚園開園(大字寺戸)
- 1970 村章決定、笠木トンネル開通
- 1971 中央公民館、生活改善センター竣工(大字寺戸)
- 1972 診療所竣工(大字寺戸)
- 1974 赤滝地区簡易水道施設完成
- 1975 歯科診療所開設(大字寺戸)
- 1976 中学校新築移転(大字堂原)
- 1977 村史発刊
- 1978 新役場庁舎新築移転(大字寺戸)  
中央地区簡易水道施設完成(大字中戸)
- 1979 旧役場庁舎に県文化財指定(大字中戸)  
幼稚園新築移転(大字寺戸)
- 1981 防災行政無線運用開始
- 1982 東小学校新築、給食センター完成(大字寺戸)  
鳥住地区飲料水供給施設完成
- 1984 中央地区簡易水道施設拡張完成(御吉野地区)  
農林トレーニングセンター完成(大字寺戸)
- 1986 黒滝地区(第1期)簡易水道施設完成
- 1988 東小学校・西小学校統合、新笠木トンネル開通
- 1989 黒滝地区(第2期)簡易水道施設完成
- 1990 山の幸センター・郷土生活体験学習館完成(大字栗飯谷)
- 1991 地蔵トンネル開通
- 1992 総合案内センター(道の駅吉野路黒滝)完成(大字長瀬)
- 1993 診療所建替、御吉野の湯完成(大字栗飯谷)、黒滝吊橋完成  
コンベンションホール完成(現デイサービスセンター)
- 1994 きららの森・赤岩完成(大字中戸)
- 1995 こもれびホール竣工(大字寺戸)、村民憲章制定
- 1996 やまなみステージ完成(大字寺戸)
- 1997 財団法人黒滝森物語村を設立
- 1998 黒滝・森物語村「森の交流館」完成(大字栗飯谷)
- 1999 吉野大峯林道開通(大字榎尾～赤滝)
- 2003 CATV事業村内全域完成、吉野郡八町村合併協議
- 2004 大峯奥駆道が世界遺産に登録  
ふれあいスポーツ広場完成(大字脇川)、黒滝村・天川村合併協議
- 2006 ふれあいバス運行開始
- 2009 ゴミ収集業務直営開始
- 2011 紀伊半島大水害(台風12号)により甚大な被害  
株式会社黒滝森物語村を設立
- 2012 村政百周年記念事業の実施、黒滝村マスコットキャラクター「くろたん」誕生
- 2014 黒滝こども園開園(大字寺戸)、樽丸製作用具が県文化財指定
- 2015 小中一貫教育開始(大字寺戸)
- 2016 黒滝村総合戦略策定、日本遺産に村の文化財等が認定、黒滝村・黒滝村森林組合・飛騨産業(株)の三者提携事業協定を締結
- 2017 黒滝村総合計画策定、道の駅にコンビニエンスストア開設
- 2018 わかさぎふれあいセンター設置(大字堂原)
- 2019 奈良県と黒滝村のまちづくりに関する包括協定を締結
- 2022 黒滝村総合計画後期基本計画を策定

豊かな森林に囲まれた 森林の村



黒滝村の概要

- 人口 623人(令和2年国勢調査)
- 総面積 47.7km<sup>2</sup>
- 平均標高 455m
- 林野面積比率 96.6%(内人口比率約92%)
- 隣接自治体 五條市 下市町 吉野町 川上村 天川村



くろたん チョコくろたん  
黒滝村マスコットキャラクター

奈良県のほぼ中央部に位置し、東西12km、南北10km、総面積47.70km<sup>2</sup>で平均標高455mと高く、四方を紀伊山脈に囲まれています。

面積の約97%が山林で、河川沿いの僅かな平地や山麓斜面に民家や農地が点在して、集落を形成している典型的な渓谷型山村です。

気候は太平洋型であり、昼夜の寒暖差が大きく、紀伊山地特有の多量の降雨と多湿、冬季の数ヶ月に渡る積雪が特徴です。過去5年間の平均気温は13.8℃、最高気温38.4℃、最低気温-8.6℃、年間平均雨量1,484mmとなっています。

この気象条件や恵まれた土壌を基に、良質の木材が生育し、古くから杉やヒノキ材の生産が行われ、吉野林業の拠点となってきました。また、吉野川・紀の川の源流である黒滝川・丹生川の水源であり、源流の村として水質保全・森林保全に努めるとともに、下流域の都市地域からの多くの観光客を迎えています。

村章



深い山の連なりが、林業にふさわしくその無限のひろがりやを表現してまわりを囲う円は、友愛に結ばれる村民の和を示し、伸びゆく黒滝村を象徴しています。

村の木 杉

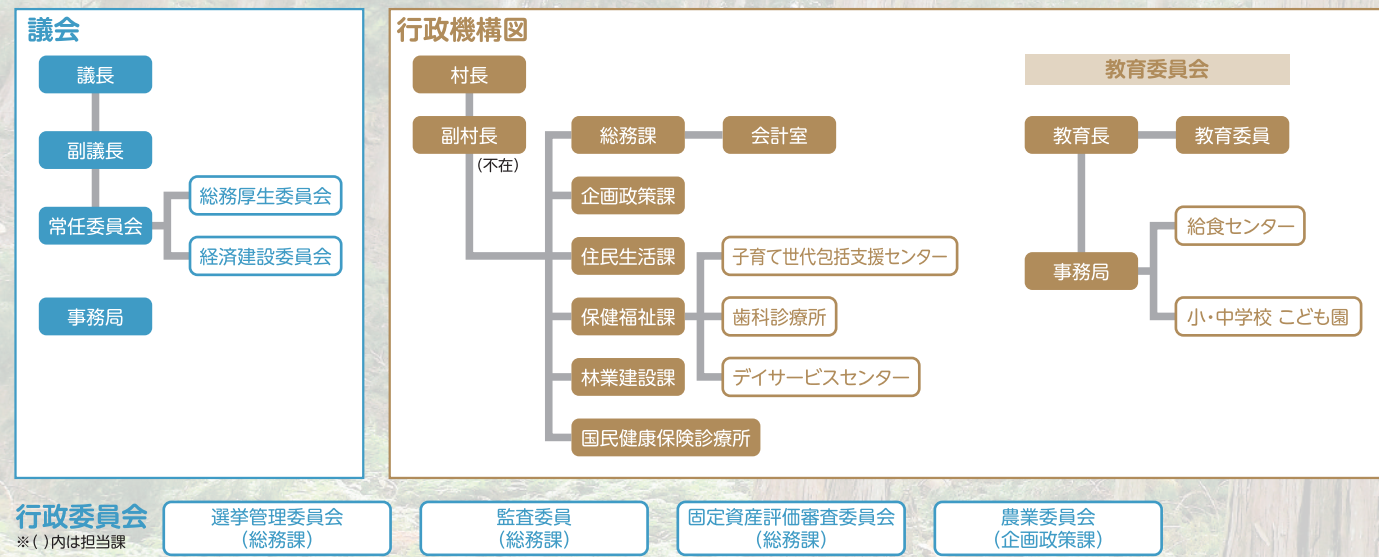


村民憲章

- わたくしたちは、黒滝村のよさを活かし、先人の努力に学び、知恵と心を結集し、明るく豊かで活力ある村づくりをめざしてこの憲章を制定します。
- 豊かな自然をまもり、より住み良い生活環境づくりに努め、うるおいとやすらぎのある村をつくりましょう。
  - 互いの人権を尊重しあい、やさしさとあたたかさのみちた村をつくりましょう。
  - 郷土の文化遺産を大切に、若い力をはぐくみ、生涯学習のふくらむ村をつくりましょう。
  - 勤労を尊び、産業の振興に努め、未来を拓く活力ある村をつくりましょう。
  - 長寿のよこびをみんなて支え、健康で生きがいのもてる福祉の村をつくりましょう。

(平成7年12月19日制定)

黒滝村議会・行政機構(令和4年4月1日現在)



黒滝村 村勢要覧【資料編】



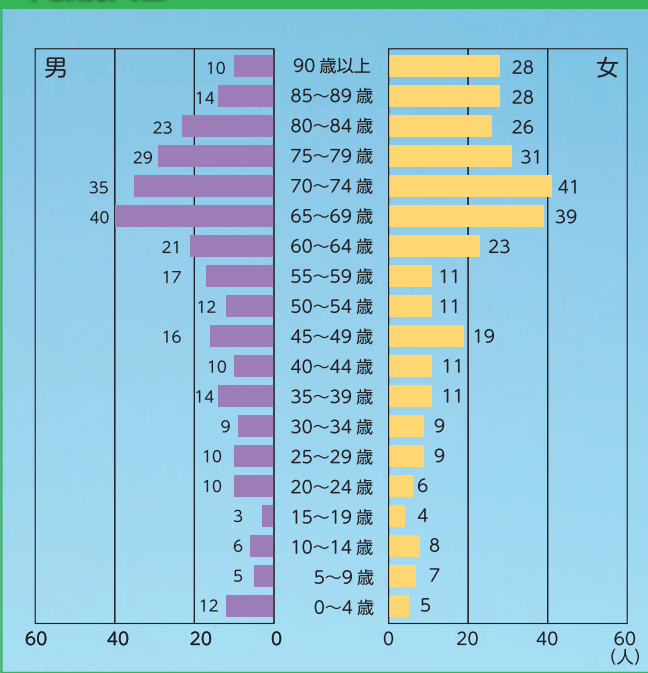
発行：令和5年3月改訂  
編集：黒滝村企画政策課 〒638-0292 奈良県吉野郡黒滝村大字寺戸77番地  
TEL：0747-62-2031 Mail：kuro\_ks@vill.kurotaki.lg.jp

人口と世帯数の推移(資料：国勢調査)

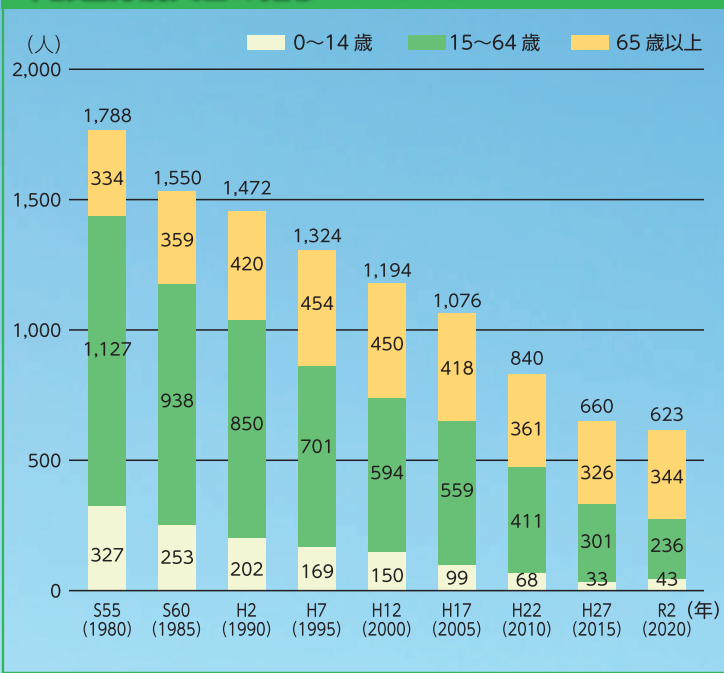
和暦	大9	大14	昭5	昭10	昭15	昭22	昭25	昭30	昭35	昭40	昭45	昭50	昭55	昭60	平2	平7	平12	平17	平22	平27	令2
西暦	1920	1925	1930	1935	1940	1947	1950	1955	1960	1965	1970	1975	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020
人口(人)	4,034	3,820	3,589	3,571	3,520	3,819	3,496	3,407	2,978	2,343	2,009	1,845	1,788	1,550	1,472	1,324	1,194	1,076	840	660	623
世帯	836	806	773	801	773	867	754	747	706	614	573	553	544	504	497	464	441	413	357	310	307



### 年齢別人口(資料:令和2年国勢調査)



### 年齢区分別人口の推移(資料:国勢調査)



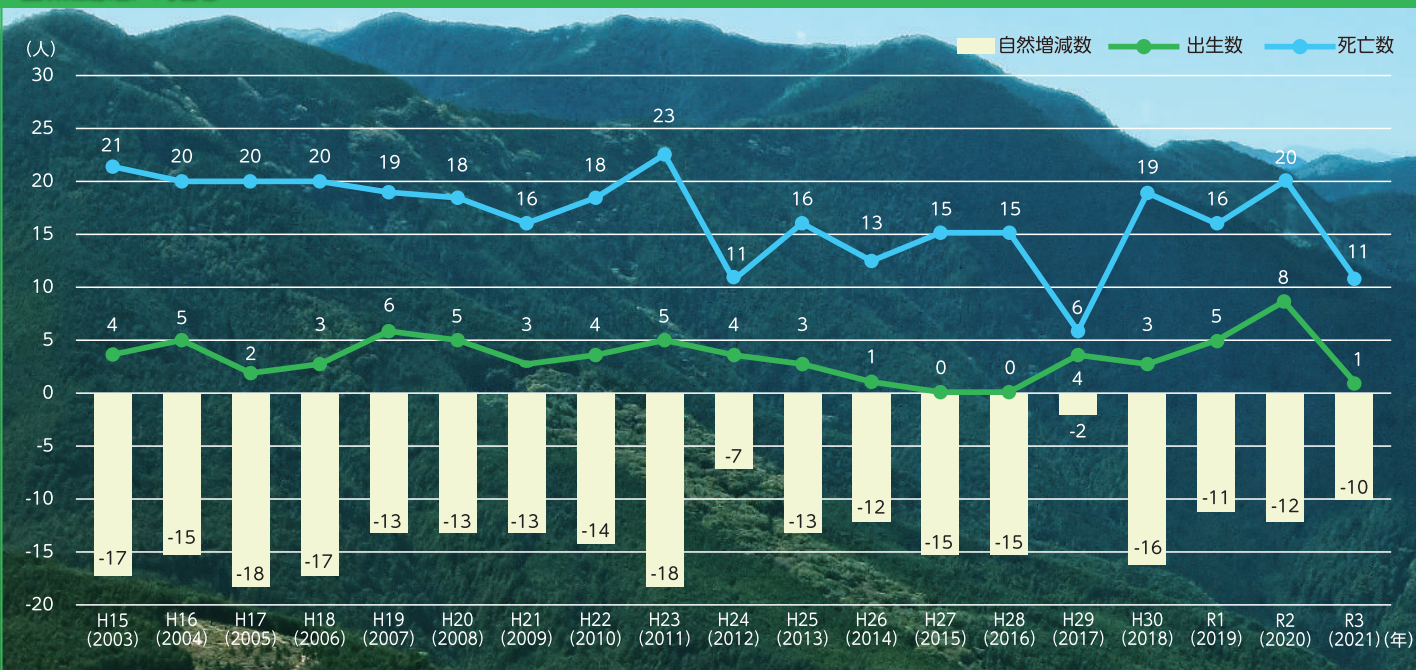
### 就業別人口の推移(資料:国勢調査)

区分	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
第一次産業 農業・林業等	(人)	111	103	107	52	32	34
	(%)	17.7	17.3	21.2	11.6	9.4	12.6
第二次産業 建設業・製造業等	(人)	245	205	216	117	84	57
	(%)	39.1	34.4	42.8	26.1	24.8	21.3
第三次産業 卸売・サービス業等	(人)	271	287	182	279	218	176
	(%)	43.2	48.2	36.0	62.3	64.3	65.9
分類不能の産業	(人)				5		
	(%)				1.5		
合計	(人)	627	595	505	448	339	267

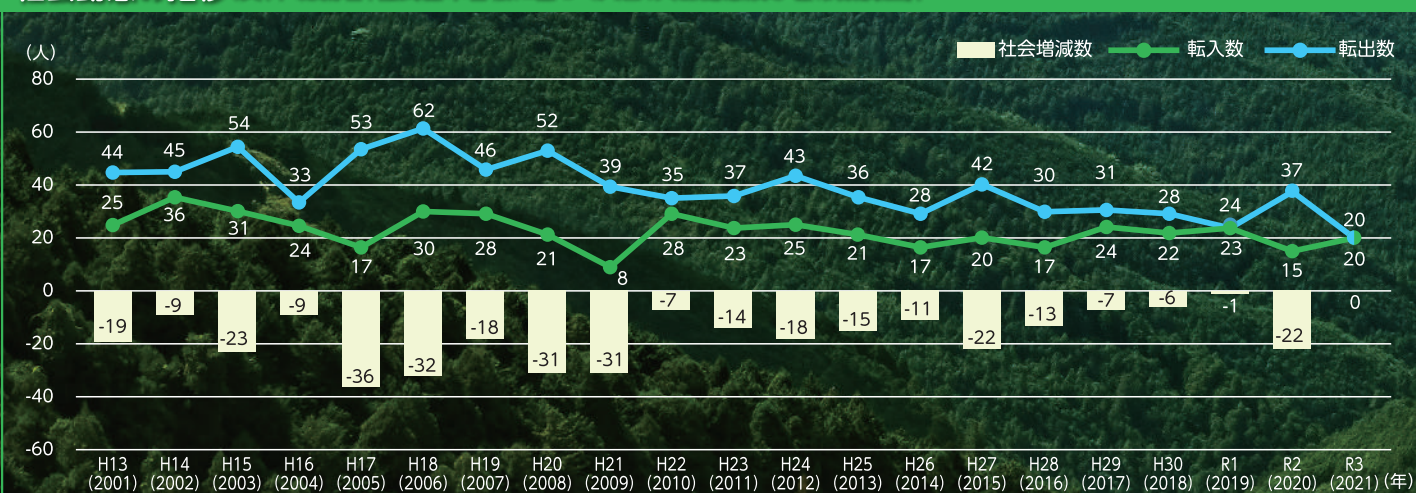
### 行政区別人口(資料:令和2年国勢調査)

	総数	男性	女性	世帯数
笠木	28	10	18	11
桂原	28	13	15	16
長瀬	66	32	34	34
御吉野	24	9	15	11
堂原	31	15	16	17
寺戸	146	69	77	66
中戸	83	41	42	45
赤滝	64	34	30	34
脇川	52	26	26	29
槇尾	26	13	13	13
鳥住	26	13	13	10
粟飯谷	49	21	28	21
合計	623	296	327	307

### 自然動態の推移(資料:厚生労働省「人口動態調査」)



### 社会動態の推移(資料:総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」)



注:平成25年(2013年)調査から外国人住民が区分に追加されたため、平成25年(2013年)以降は外国人を含む。

### 黒滝こども園の概要(令和4年5月1日現在)

	園児総数	0~2歳	3歳	4歳	5歳	職員数
園児数(人)	15	6	1	6	2	10

### 児童保育の概要(令和4年5月1日現在)

	総数
利用者数(人)	12

### 黒滝小学校の概要(令和4年5月1日現在)

	児童総数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	職員数
児童数(人)	14	2	0	4	1	2	5	9

### 黒滝中学校の概要(令和4年5月1日現在)

	生徒総数	1年	2年	3年	職員数
生徒数(人)	9	2	3	4	15

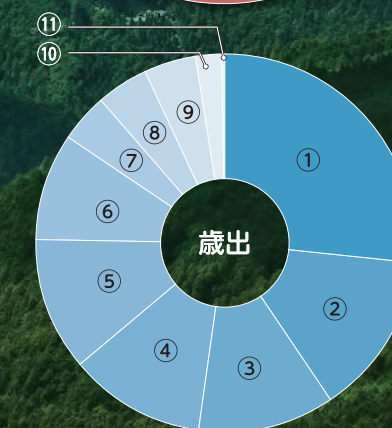
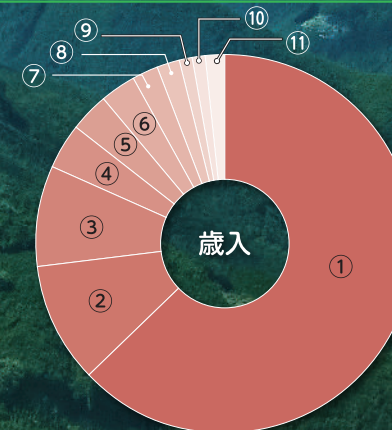
### 村職員の概要(令和4年4月1日現在、資料:総務省「地方公共団体定員管理調査」)

	総数	議会	総務	税務	民生	衛生	農水	土木	教育	公営企業等 病院	公営企業等 水道	公営企業等 下水道	公営企業等 その他
職員数(人)	43	1	11	3	2	4	1	3	11	3	1	1	2

### 村財政の概要(令和3年度決算)

#### 一般会計決算額

- 歳入 15億4253万円
- 歳出 14億4836万円
- 翌年度繰越 431万円
- 実質収支 8986万円



項目	決算額	構成比	前年度比
① 地方交付税	9億7223万円	63.0%	1億5170万円
② 国庫支出金	1億5602万円	10.1%	▲8183万円
③ 村債	1億3240万円	8.6%	▲9116万円
④ 村税	6277万円	4.1%	▲655万円
⑤ 県支出金	5116万円	3.3%	▲2078万円
⑥ 諸収入	4397万円	2.9%	▲1790万円
⑦ 繰越金	3537万円	2.3%	▲702万円
⑧ 地方譲与税	3096万円	2.0%	26万円
⑨ 寄付金	1762万円	1.1%	1248万円
⑩ 地方消費税交付金	1517万円	1.0%	106万円
⑪ その他	2487万円	1.6%	267万円
合計	15億4253万円	100.0%	▲5706万円

項目	決算額	構成比	前年度比
① 総務費	3億8041万円	26.3%	5685万円
② 衛生費	2億16万円	13.8%	▲3727万円
③ 民生費	1億6671万円	11.5%	194万円
④ 農林水産業費	1億6592万円	11.5%	543万円
⑤ 教育費	1億6356万円	11.3%	▲8570万円
⑥ 公債費	1億3047万円	9.0%	760万円
⑦ 土木費	7934万円	5.5%	▲337万円
⑧ 商工費	6509万円	4.5%	2643万円
⑨ 消防費	6358万円	4.4%	▲8744万円
⑩ 議会費	3113万円	2.1%	▲37万円
⑪ 労働費	200万円	0.1%	4万円
合計	14億4836万円	100.0%	▲1億1586万円